

2019年度（2020年3月期） 第1四半期決算 説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next

I. 2019年度第1四半期決算の概要

**全体概要、グループ別、売上収益・営業利益増減内訳、
計画値との差異、海外地域別、受注・立上状況、協創、
業態別業績**

II. 中計戦略（コア領域の強化と新たな成長機会の獲得）

パレット株式の取得

日立トラベルビューロー株式の譲渡

輸送車両シェアリングサービス開始

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2018年度		2019年度				
	第1四半期		第1四半期			通期	
	実績	実績	前年同期比		計画 (4.26時点)	前期比	
			比率	増減			
売上収益	1,748	1,697	97%	-50	7,000	99%	
営業利益	<4.2> 74.2	<4.7> 79.4	107%	5.2	<4.5> 315.0	101%	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<4.6> 80.7	<5.6> 95.0	118%	14.2	<5.0> 352.0	97%	
親会社株主に帰属する 四半期利益	<2.9> 50.5	<2.8> 47.7	94%	-2.8	<3.1> 220.0	97%	

通期計画は変更なし

※本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は増減差）

		売上収益			営業利益		
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	前年同期比		
オーガニック	国内物流	<62>	915	104%	54.1	113%	
	国際物流	海外	<29>	433	98%	16.7	106%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<6>	84	63%	0.4	(+0.4)
	計	<35>	517	90%	17.1	109%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	44	88%	4.3	173%	
計		<100>	1,477	98%	75.4	114%	
バンテックグループ	国内物流	<66>	162	91%	5.0	65%	
	国際物流	海外	<34>	83	89%	1.6	55%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<0>	0	-	0.0	-
	計	<34>	83	89%	1.6	55%	
計		<100>	245	90%	6.6	62%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	-24	(+6)	-2.6	(-0.0)	
合計	国内物流	<63>	1,073	102%	57.1	106%	
	国際物流	海外	<30>	507	【98%】 97%	17.7	【99%】 98%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<4>	76	【86%】 61%	0.4	【+1.2】 (+0.4)
	計	<34>	584	【97%】 90%	18.1	【106%】 100%	
	その他(物流周辺事業等)	<2>	41	85%	4.3	173%	
計		<100>	1,697	97%	79.4	107%	

✓ 【 】内は日新Gr非連結化影響を除いた比率（一部増減差）

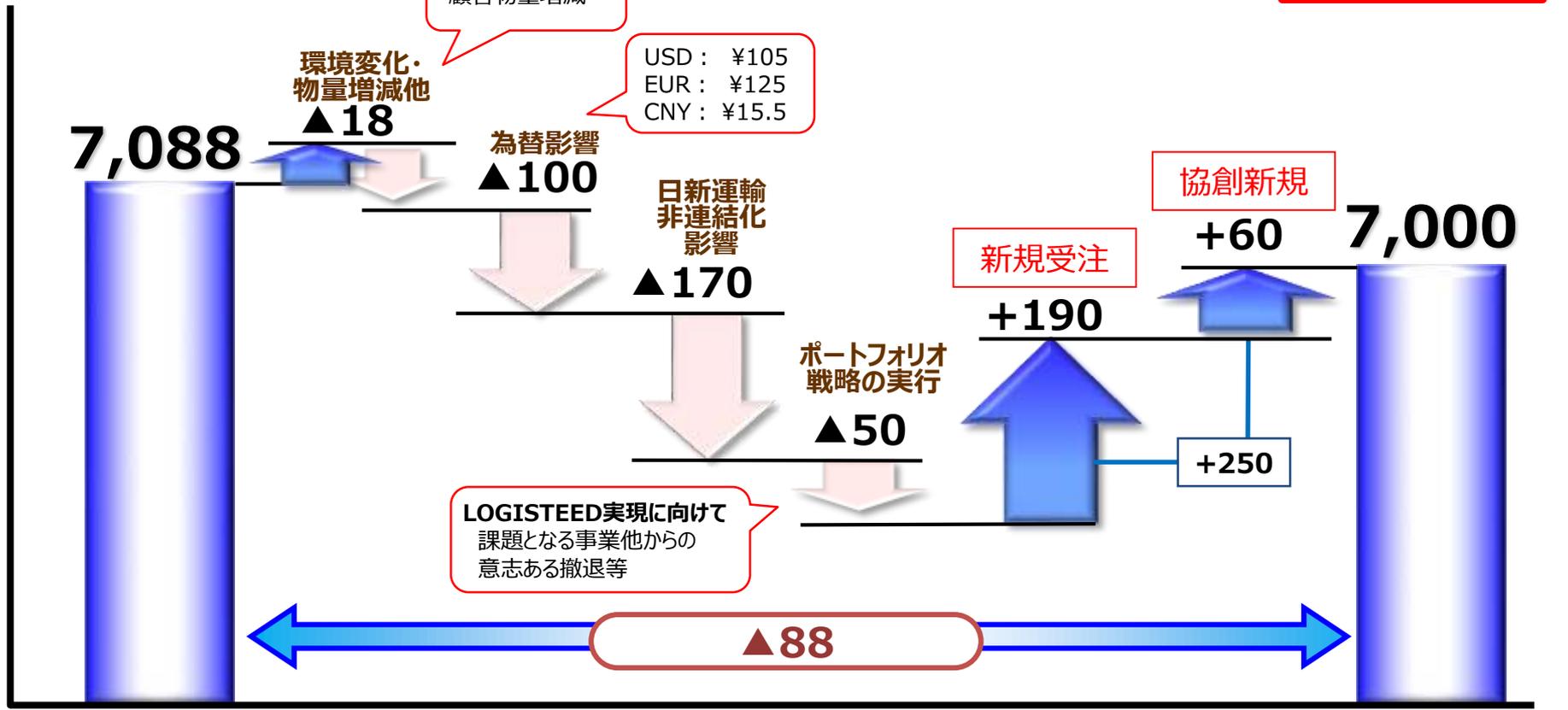
売上収益 (計画)

(億円)

2019年4月26日
決算発表資料より

・受託領域拡大
・顧客物量増減

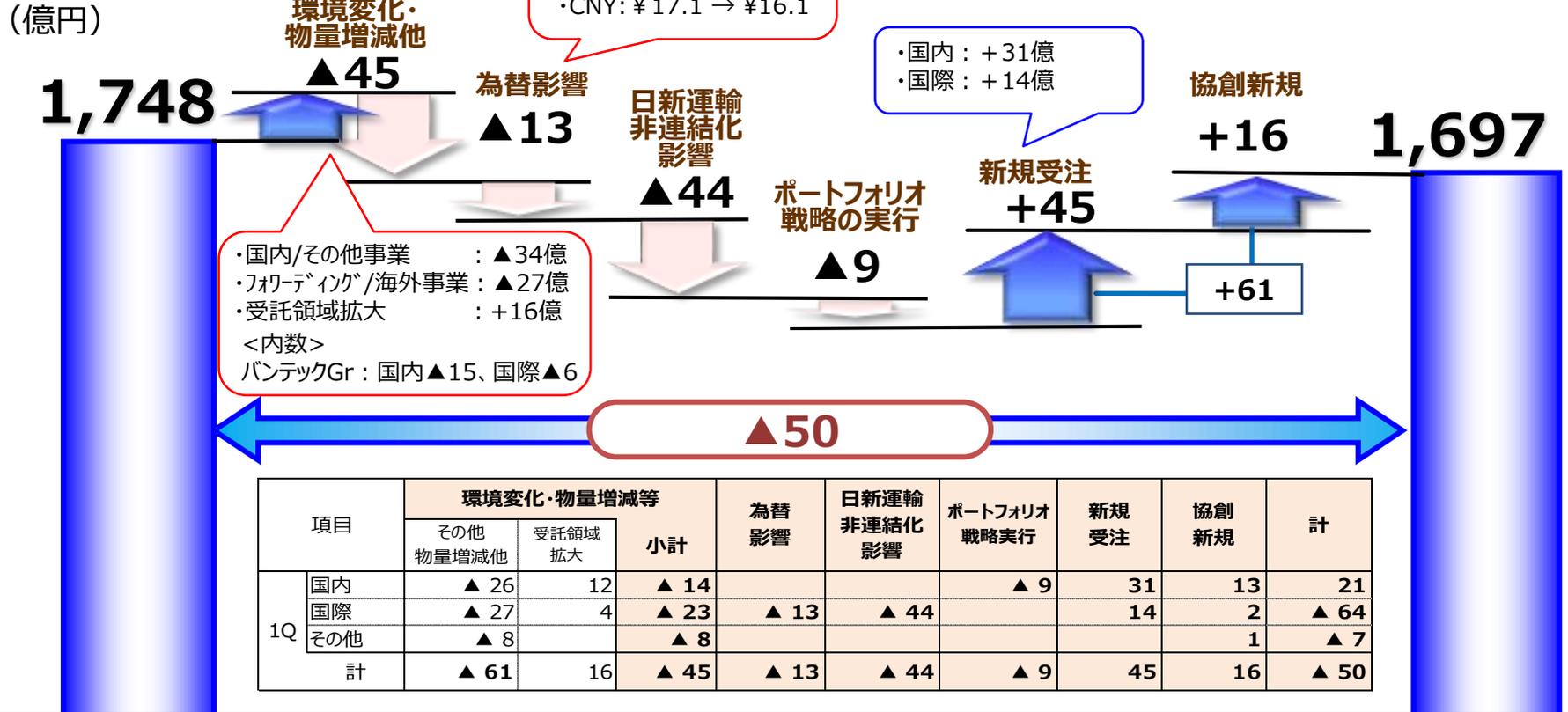
USD : ¥105
EUR : ¥125
CNY : ¥15.5



2018年度 (実績)

2019年度 (計画)

第1四半期 売上収益実績



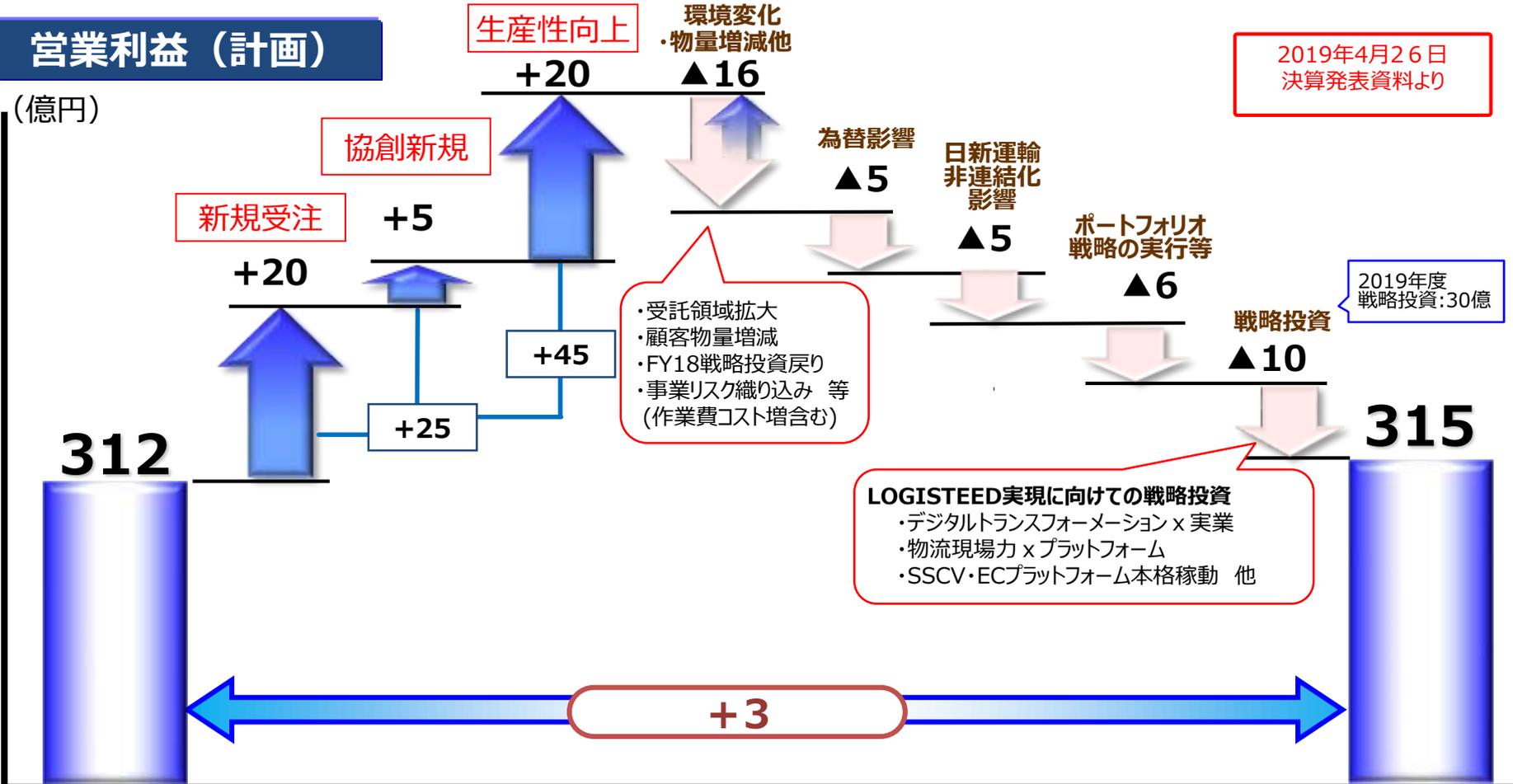
2018年度 1 Q(実績)

2019年度 1 Q(実績)

営業利益 (計画)

(億円)

2019年4月26日
決算発表資料より



・受託領域拡大
・顧客物量増減
・FY18戦略投資戻り
・事業リスク織り込み 等
(作業費コスト増含む)

LOGISTEED実現に向けての戦略投資
 ・デジタルトランスフォーメーション x 実業
 ・物流現場力 x プラットフォーム
 ・SSCV・ECプラットフォーム本格稼動 他

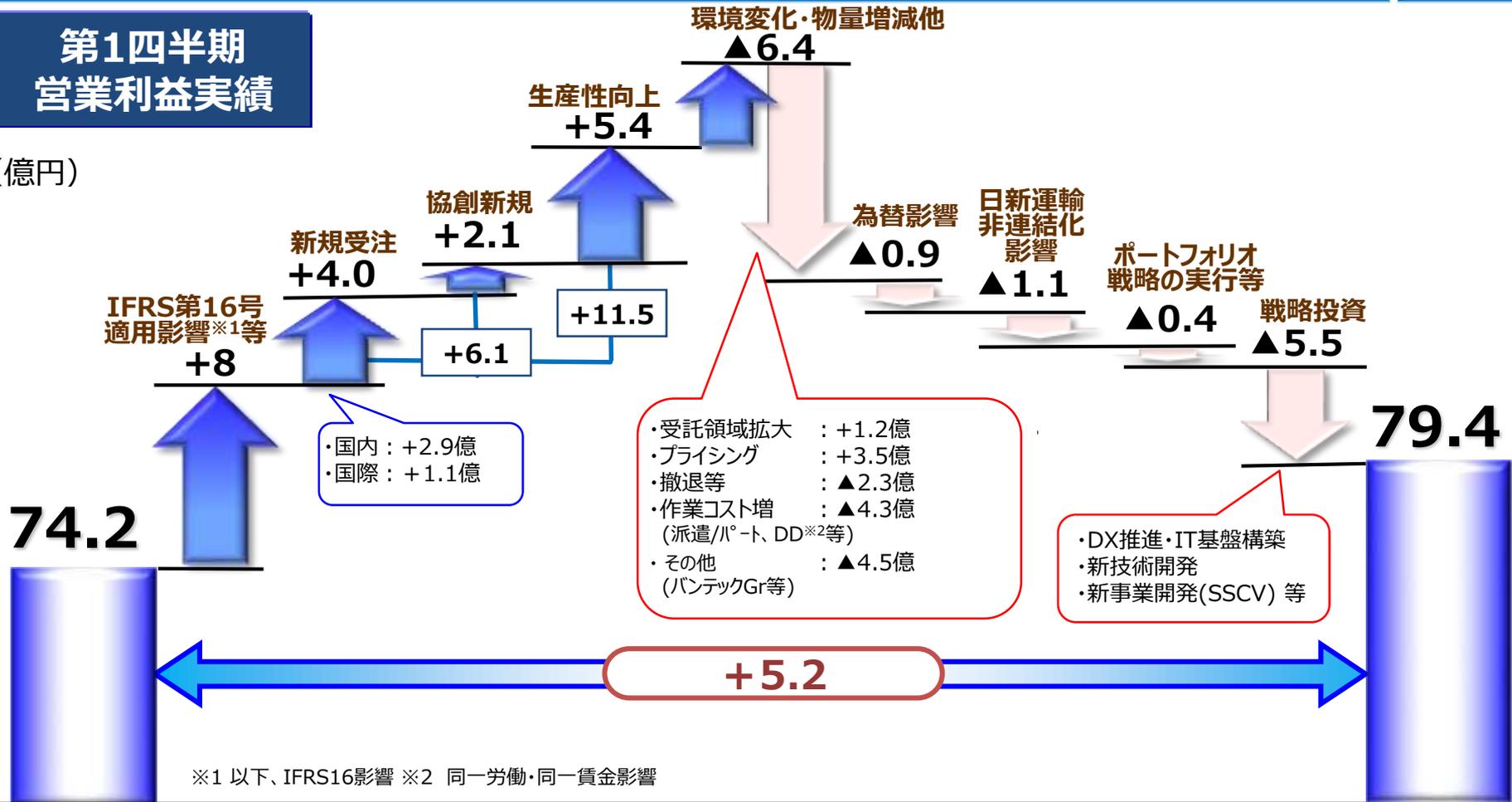
2019年度
戦略投資: 30億

2018年度 (実績)

2019年度 (計画)

第1四半期 営業利益実績

(億円)



・国内 : +2.9億
・国際 : +1.1億

・受託領域拡大 : +1.2億
・プライシング : +3.5億
・撤退等 : ▲2.3億
・作業コスト増 (派遣/パート、DD※2等) : ▲4.3億
・その他 (パンテックGr等) : ▲4.5億

・DX推進・IT基盤構築
・新技術開発
・新事業開発(SSCV)等

※1 以下、IFRS16影響 ※2 同一労働・同一賃金影響

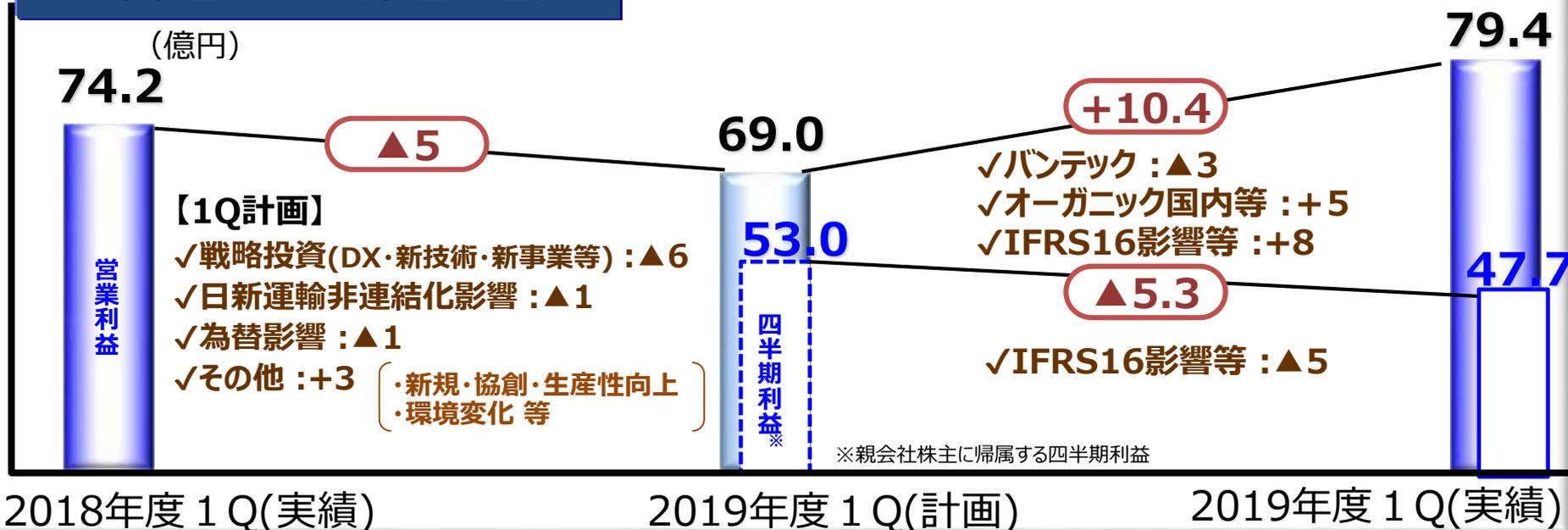
2018年度 1 Q(実績)

2019年度 1 Q(実績)

[売上収益] 計画1,706億円→実績1,697億円・・・ほぼ想定通り(日新非連結化影響等)

[営業利益] 計画69.0億円→実績79.4億円・・・・計画を上振れて推移

営業利益・四半期利益の差異



(単位：億円)

項目	売上収益			営業利益		
	2018年度	2019年度		2018年度	2019年度	
	第1四半期	第1四半期	前年同期比	第1四半期	第1四半期	前年同期比
北米	112	110	99%	3.2	2.3	71%
欧州 ^{※1}	181	167	93%	9.7	11.3	116%
アジア(中国除く)	113	101	90%	4.9	3.6	74%
中国	123	127	103%	2.4	1.0	41%
オセアニア他	10	11	109%	0.6	0.4	67%
連結消去等 ^{※2}	-14	-9	-	-2.6	-0.8	-
計	523	507	97%	18.2	17.7	98%

※1. トルコは欧州に含む

※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む

2019年度1Q：受注・立上状況

(単位：件)

		2018年度	2019年度	
		第1四半期	第1四半期	前年同期増減
受注	国内	3	4	1
	国際	4	3	-1
	計	7	7	0
立上	国内	5	5	0
	国際	2	2	0
	計	7	7	0

(参考1) 1Qの主な立上案件

国内：【自動車部品】 倉庫内作業・輸送

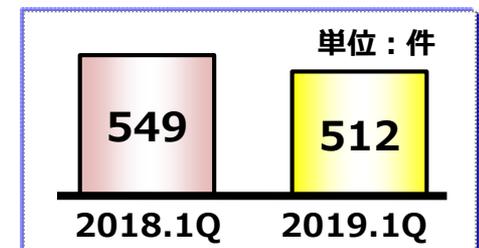
【建設機械】 門前倉庫運営

【半導体製造装置】 工場内物流アウトソーシング

国際：【建設機械】 サービスパーツ倉庫運営

(参考2) 国内本部 受注件数の推移

<新旧定義・単発案件(重量機工等)
・小規模案件含む>



新規積上げ分

(単位：億円)

			売上収益		営業利益	
			新規寄与		新規寄与	
			1Q実績	通期計画	1Q実績	通期計画
国内	3PL・輸送	クロスセル・効率化	13	-	1.6	-
	その他	重量・機工 等	0	-	0.1	-
	小計		13	-	1.6	-
国際	3PL・輸送	クロスセル・効率化	1	-	0.1	-
	その他	重量・機工、フォワーディング等	1	-	0.2	-
	小計		2	-	0.3	-
その他	その他	車両リース、トラベル事業等	1	-	0.2	-
	小計		1	-	0.2	-
	3PL・輸送	クロスセル・効率化	14	-	1.7	-
	その他	重量・機工、フォワーディング等	2	-	0.4	-
協創効果 ()内は営業利益率			16	60	2.1 (13.0%)	5.0 (8.3%)

■ 通期計画に対する進捗率： **27%** (16/60) **42%** (2.1/5.0)

SGHグループとの協創キャッチアップ目標への進捗→『想定通り。(キャッチアップは2019年度第2四半期予定)』

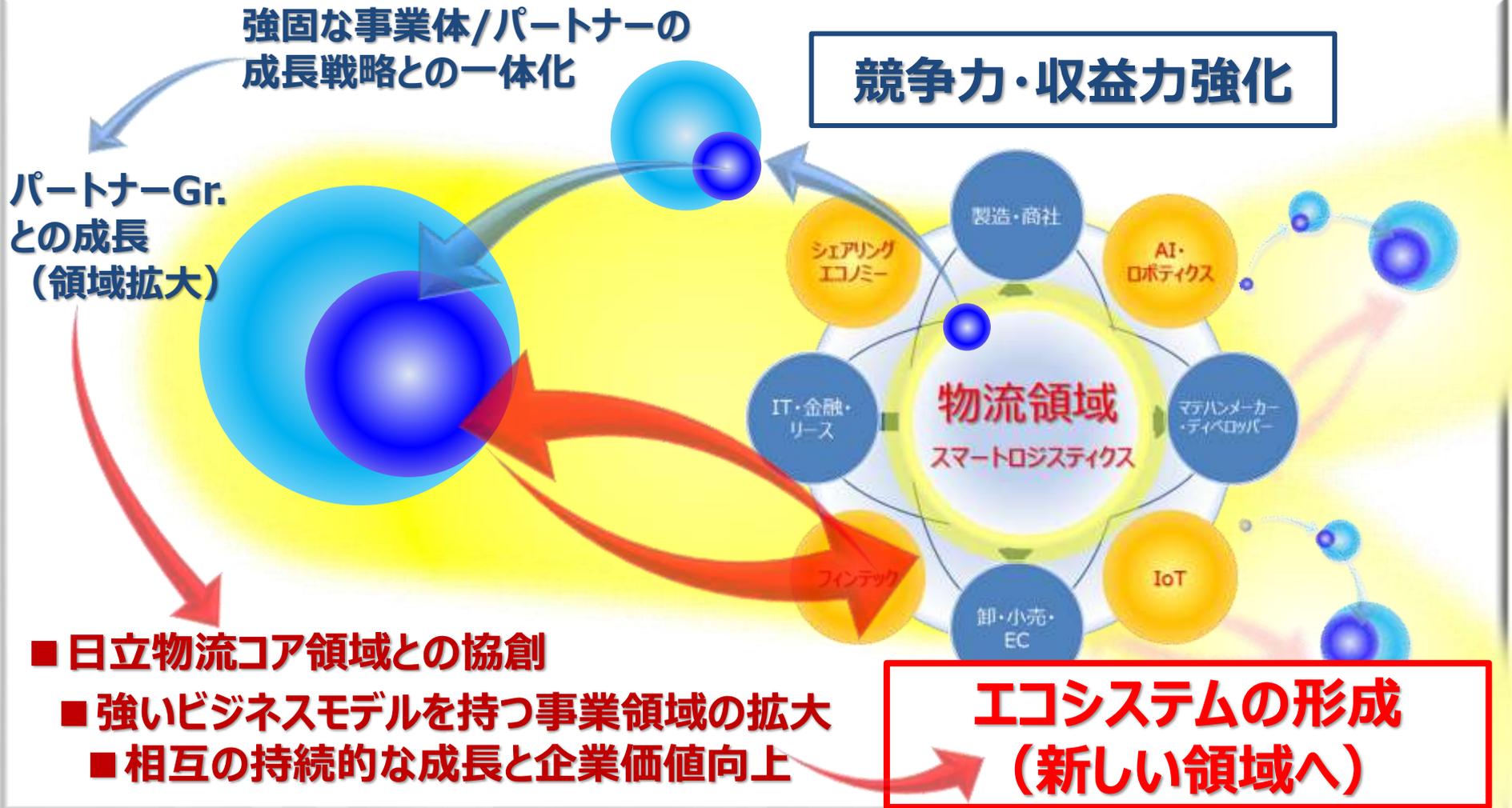
参考資料 業態別実績 (概算値)

※ () 内は顧客関連資産償却費を除く

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期			2019年度 第1四半期		
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
国内	886	46.2	5.2% (5.3%)	921	53.1	5.8% (5.8%)
海外	209	9.8	4.7% (5.2%)	200	13.5	6.8% (7.3%)
3PL	1,094	56.0	5.1% (5.2%)	1,121	66.7	5.9% (6.1%)
国内	124	0.3	0.2% (1.1%)	76	0.3	0.4% (1.9%)
海外	193	4.8	2.5% (3.0%)	184	1.6	0.9% (1.3%)
フォワーディング	317	5.1	1.6% (2.3%)	260	1.9	0.7% (1.5%)
国内	168	5.2	3.1% (4.4%)	154	2.9	1.9% (3.3%)
海外	121	4.2	3.5% (3.8%)	117	2.3	2.0% (2.3%)
オート	289	9.5	3.3% (4.1%)	270	5.3	1.9% (2.9%)
その他サービス	48	3.7	7.6% (7.6%)	46	5.6	12.0% (12.0%)
合計	1,748	74.2	4.2%	1,697	79.4	4.7%

※本資料より海外会社の業態区分を一部変更。(細分化して集計)。尚、上記実績値は当該変更を反映した数値。



新たな成長機会獲得に向けた取り組み

概要

日立オートモティブシステムズ(株)の連結子会社で、パレット等の開発、販売および賃貸業などを展開するパレット(株)の発行済み株式の70%※を取得

※当社グループ：85%保有（当社70%、バンテック15%保有）

目的

- 物流機材の調達管理を含めたシェアリングサービスの構築
(パレット(株)が強みを持つ独自リレー型のパレットレンタルシステム)
- 輸送デジタルプラットフォームの強化・拡充
(SSCV※の車両動態管理との組み合わせ、サプライチェーンの可視化等)

※SSCV：Smart & Safety Connected Vehicleの略

日程

2019年6月27日：株式譲渡契約締結 **2019年8月1日：株式取得**



強固なコア領域構築のためのポートフォリオ戦略の実行

概要

当社の連結子会社である(株)日立トラベルビューローの株式70%をBTM※大手のBCD Travel Asia B.V. に譲渡

※BTM : Business Travel Managementの略

目的

■ グローバルBTM事業の拡大

海外での成長が大きく期待されているBTM市場において、(株)日立トラベルビューローが培ってきた企業向けサービスノウハウと、グローバルBTMマーケットのリーダーであるBCDグループの基盤やサービスラインナップを融合

日程

2019年7月1日：株式譲渡契約締結 及び譲渡実施

日立のLumadaソリューションを活用した協創による車両シェアリングを実現

サービス内容

■データ解析エンジンを用いて荷主企業と輸配送業者をマッチング(最適配車)

- ・複数荷主貨物の共同輸配送
- ・輸送後の空車回送を有効活用

日程

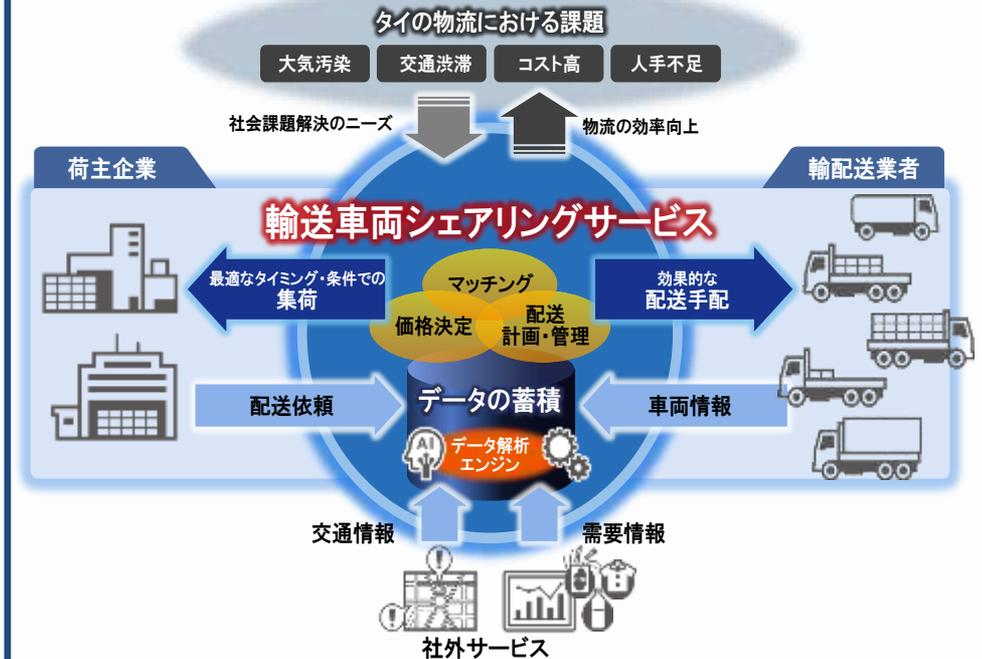
■2019年6月

：タイにてコンテナ輸送向けサービス開始

■今後

：順次トラック輸送向けサービス開始
機能充実化

サービス概念図



- ✓原則として全てのリース取引について、リース期間にわたり原資産を使用する権利である**使用权資産とリース料の支払義務であるリース負債をそれぞれ認識。**
- ✓使用权資産とリース負債の認識後は、使用权資産から生じる**減価償却費と、リース負債から生じる金利費用(支払利息)を個別に認識** [当社における主な影響は以下の通り]

B/S影響

項目	適用影響
資産の部合計	使用权資産認識 増加影響
負債の部合計	リース負債認識 増加影響
資本の部合計	

P/L影響

項目	適用影響
売上収益	
調整後営業利益	・賃借料減少 ・減価償却費増加 プラス影響
EBIT	
税引前四半期利益	・支払利息増 マイナス影響
四半期利益	

財務指標等への影響 (2019年度 1Q)

	適用前	適用後		適用前	適用後
総資産	約6,100億円 ↗	8,795億円	ROE	9.5% ↘	8.6%
親会社株主持分比率	36.7% ↘	25.4%	ROA	3.5% ↘	2.2%